

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	073 -	事業名	放課後児童クラブ事業		担当部課	子ども部子ども未来課		
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち	会計 区分	一般会計				
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		予算区分(款 - 項 - 目)				
	第6次総合計画・基本目標	✓ 子どもが元気に育つまち	3-2-1 児童福祉総務費					
	法定受託事務の有無	-						
	その他(関係計画、要綱等)	✓	長久手市児童クラブ運営要綱					
	事業開始の背景、経緯等	児童福祉法の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している子どもたちに対し、授業の終了後に小学校や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る。						
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 放課後に、保護者が就労等により留守になる家庭の児童を保護者に替わって預かる。 児童クラブ7箇所(長久手南、下山、長久手、東、東2、市が洞、西) 学童保育所4箇所(長久手、長久手長南、長久手北、市が洞)						
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 児童クラブ 市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童 学童保育所 市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童						
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 入所要件を満たす児童をすべて受け入れる。						
	事業を構成する事務事業(B票)	① 放課後児童クラブ運営事業	拡充	④				
	② 放課後児童クラブ整備事業	拡充	⑤					
	③		⑥					
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	事業費(A)	千円	予算	62,629	72,218	112,332	287,619	149,165
			決算	56,410	89,667	119,416	276,673	
	人件費(B)	千円	決算	9,777	7,485	9,012	12,473	
総コスト(A)+(B)	千円	決算	66,187	97,152	128,428	289,146		
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	A 児童クラブ加入希望者の受入れ割合	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100
			実績	85.8	84.7	81.0	86.9	
	B 学童保育所加入希望者の受入れ割合	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A (児童クラブにおいての) 入所児童数/申込者数								
B (学童保育所においての) 入所児童数/申込者数								
C								
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成27年度に施行された、子ども・子育て新制度では、放課後児童クラブも対象事業の1つとされており、質・量ともに充実を図っていくこととしている。 近隣の実施市町:尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町						
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 児童クラブ入所希望者数増加のため、緊急的な措置として、定員を超えた受入れを行った後、さらに運営に支障がない範囲で、再度追加で入会承諾をした(南、下山)。また、東小学校区では、既存の児童クラブではこれ以上の受入れ人数の拡充は難しいため、過去に児童クラブを開設していた上郷児童館内で、第2児童クラブを開設した。						
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 平成27年度に策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき、児童クラブ及び学童保育所の整備等を行うことにより、実施箇所は5年間で2カ所開所し、定員数は307人拡充した。						
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後も、児童数の増加が続く中、児童クラブや学童保育所に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。						
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、放課後の子どもの居場所づくりに努める。 国によって示された「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型に努めることとし、南小学校(平成30年度)と北小学校(平成31年度)において、実現を目指す。						
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 児童クラブ及び学童保育所、放課後子ども教室とは運営の形態として類似性があり、保護者の就労状況やニーズも時代とともに変化してきているものと認識しており、これらの事業の新たな形態について、次期総合計画や子ども子育て支援事業計画を策定する中で検討していく必要があると考えている。						

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・児童クラブ及び放課後子ども教室の一体型を引き続き図ってください。 ・運営面の民間活用について、研究・検討してください。
------	-------------------------	---

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	放課後児童クラブ事業		担当部課	子ども部子ども未来課	決算書ページ	—
事務事業名	①	放課後児童クラブ運営事業	予算区分	3-2-1 児童福祉総務費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	児童クラブ：平成10年 学童保育所：昭和57年	終了（予定）年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 放課後に、保護者が就労等により留守になる家庭の児童を保護者に替わって預かる。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後の児童を健全に育成する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	62,629	72,218	103,772	113,869	149,165
		決算	56,410	89,667	111,280	122,424	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1) 児童クラブ事業委託							67,055 千円
(2) 児童クラブ指導補助員賃金							25,568 千円
(3) 児童厚生施設指導嘱託員報酬							18,925 千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
児童クラブ参加人数	人	見込	300	340	360	360	509
		実績	297	321	359	412	
学童保育所参加人数	人	見込	290	290	330	330	370
		実績	215	266	300	334	
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
・児童クラブ：【定員】南50人、下山59人、長久手80人、市が洞70人、東60人、東240人、西40人 【受入数】412人 ・学童保育所：【定員】長久手69人、長南71人、北70人、市が洞120人 【受入数】334人							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

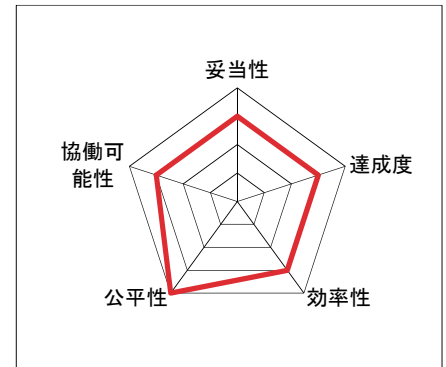
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
113,869 千円 149,165 千円 35,296 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】 待機児童の解消に向けた取組みについて、児童クラブは、毎日、定員全ての児童が参加する訳ではないため、過去の参加状況と当年度の受入れ体制から、運用に支障がない範囲で受入れ人数を増やすことにより、待機児童の解消を図る。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 児童クラブ入所希望者数増加のため、定員を超えた受入れを行った後、さらに運営に支障がない範囲で、再度追加で入会承諾をした（南、下山）。また、東小学校区では、過去に児童クラブを開設していた上郷児童館内で、第2児童クラブを開設した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
地域との協議により、児童館に隣接する集会場内で児童クラブを実施することができた。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 南児童クラブにおいて、夏休みに利用児童数が多くなったため、南児童館に隣接する長配・菖蒲池集会場を借用することにより、児童が安全に過ごすことができた。
--

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など) 待機児童の解消に向けた取組みとして、今後整備を予定している、北児童館及び上郷児童館内にも児童クラブ室を設置することにより児童クラブの受入れ定員を拡充することを見込んでいます。

7. 今後の方向性

拡充

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	放課後児童クラブ事業		担当部課	子ども部子ども未来課	決算書ページ	—
事務事業名	②	放課後児童クラブ整備事業	予算区分	3-2-1 児童福祉総務費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	児童クラブ：平成10年 学童保育所：昭和57年	終了（予定）年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市子ども・子育て支援事業計画に基づき、放課後の児童の居場所を確保する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後の児童の居場所を拡充する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算			8,560	173,750	0
		決算			8,136	154,249	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1) 放課後クラブ棟工事						129,517 千円	
(2) 消耗品費						5,643 千円	
(3) 放課後クラブ棟工事監理委託						5,143 千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
児童クラブの整備箇所数	箇所	見込	-	-	1	2	2
		実績	-	-	1	2	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
<ul style="list-style-type: none"> 南小学校多目的棟 構造：木造2階建て 延床面積：395.02㎡ 北小学校多目的棟 構造：木造2階建て 延床面積：434.74㎡ 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

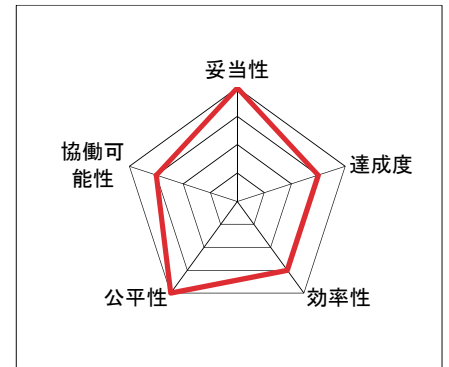
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
173,750 千円 0 千円 △ 173,750 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】 児童クラブと放課後子ども教室との一体型の実施については、南小学校（平成30年1月～）と北小学校（平成31年4月～）において、実現を目指す。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 南小学校及び北小学区ににおいて一体型の整備工事を実施したことにより、受入れ定員を合わせて110人拡充することができた。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など) 待機児童の解消に向けた取組みとして、今後整備を予定している、北児童館及び上郷児童館内にも児童クラブ室を設置することにより児童クラブの受入れ定員を拡充することを見込んでいる。
--

7. 今後の方向性

拡充